



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月8日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 赤田 民生
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 隆 (TEL) (078)303-9010
四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績(平成23年3月1日~平成23年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	4,184	6.0	257	24.5	276	37.6	149	53.1
23年2月期第1四半期	3,948	62.9	341	-	442	-	317	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第1四半期	17	46	-	-
23年2月期第1四半期	41	09	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年2月期第1四半期	12,826		6,858		51.6	777	63	
23年2月期	12,776		6,894		52.2	783	51	

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 6,624百万円 23年2月期 6,674百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	-	-	-	-	-	-	25	00
24年2月期	-	-	-	-	-	-	-	-
24年2月期(予想)	-	-	-	-	-	-	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,850	9.2	670	1.5	720	8.5	430	11.8	50	48
通期	18,110	10.1	1,460	16.7	1,600	13.2	1,000	15.2	117	40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：有

以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期1Q	8,518,000株	23年2月期	8,518,000株
24年2月期1Q	400株	23年2月期	400株
24年2月期1Q	8,517,600株	23年2月期1Q	7,717,759株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成24年2月期の個別業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	7,300	7.1	400	14.1	500	5.4	300	2.9	35	22
通期	15,150	9.8	1,000	24.1	1,150	31.7	730	44.5	85	70

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1．当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

四半期決算補足説明資料につきましては、平成23年7月15日（金）に当社ホームページに掲載する予定です。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、直接の被害はもとよりサプライチェーンの寸断などの諸問題が発生し、景気は急速に落ち込みました。また、海外では新興国を中心に景気は概ね堅調に推移しているものの、一部で減速の兆しが見られます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、主要な需要先である自動車産業の工場稼働率の低下による潤滑油製品の売上減少が見られました。一方、ホットメルト接着剤は、震災による紙おむつの生産増に対応し堅調に推移しました。また、サプライチェーンの寸断により、一時的に原材料調達に支障をきたす懸念がありましたが、代替材料の確保等により製品の供給責任を果たしてまいりました。

海外におきましては、中国、東南アジアでの当社製品の需要が引き続き堅調に推移しており、北米でも先行きの景気悪化が懸念されながらも拡大傾向を示しております。

以上の結果、第1四半期連結会計期間の売上高は4,184百万円（前年同期比6.0%増）となり、利益面については、前年同期に負ののれんの償却額を計上したことや、原材料価格が上昇していることにより、経常利益は276百万円（前年同期比37.6%減）、四半期純利益は149百万円（前年同期比53.1%減）となりました。

当社グループとしましては、引き続き、中国、東南アジアへの展開およびダイカスト用油剤やハードディスク表面潤滑剤などの環境・情報関連分野の新製品開発や有機ELを用いた表示デバイス向け封止材等、エネルギーデバイス分野の研究開発に注力しております。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

日本

(特殊潤滑油)

震災の影響により、自動車産業等を中心に大きく工場稼働率が低下した結果、ダイカスト用油剤や難燃性作動液の売上高の減少が見られましたが、冷熱媒体油の売上高が加算されたため、前年同期に比べ堅調な結果を示しました。

(合成潤滑油)

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、震災による国内自動車生産減少の影響はありましたが、海外自動車生産の好調な伸びに支えられ、海外向けが伸長した結果、好調であった前年同期を多少下回る程度の売上高となりました。ハードディスク表面潤滑剤は、前年同期に好調であった大手顧客の生産量が減少したため、売上高は低調に推移しました。

(素材)

流動パラフィンポリスチレン向けが好調に推移した一方、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けが震災の影響を受け低迷しました。石油スルホネートは金属加工油メーカー向けが堅調に推移しました。

(ホットメルト接着剤)

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けが震災による増産に対応し、引き続き堅調に推移しました。また、新規分野拡販の重点としております粘着剤は好調を維持しましたが、自動車内装材用途は震災の影響により前年同期比マイナスとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3,731百万円（前年同期比7.7%増）となりました。セグメント利益は原料調達面で原材料価格が上昇していることにより、195百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

中国

中国では、工業生産が安定した伸びを維持し、ダイカスト部品製造用の難燃性作動液や滑り止め加工用ホットメルト接着剤の売上高が堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は351百万円（前年同期比5.5%増）となり、セグメント利益は、原材料価格の上昇により、40百万円（前年同期比15.0%減）に留まりました。

東南アジア

東南アジアでは、自動車、二輪車市場の成長が著しく、タイ、インドネシア、ベトナムでの生産台数の増加により、ダイカスト用油剤等の製品需要も好調を維持しております。また、自動車関連以外の用途に使用される切削油剤等も好調に推移しました。

当セグメントの売上高は318百万円（前年同期比6.2%増）となり、セグメント利益は、原材料価格の上昇により、19百万円（前年同期比13.1%減）に留まりました。

北米

北米では、自動車生産の回復により、日系自動車関連顧客の需要が好調に推移すると共に、新たな米系顧客でのダイカスト用油剤等の売上高が増加しました。また、高温環境下で使用する合成潤滑油も需要拡大により、堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は37百万円（前年同期比16.0%増）となり、セグメント損失は、4百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

当1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円増加し、12,826百万円となりました。主な要因は、配当金支払等により現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、たな卸資産および繰延税金資産等その他の資産が増加したことにより、流動資産が216百万円増加、有形固定資産および繰延税金資産等投資その他の資産の減少により固定資産が167百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、5,968百万円となりました。主な要因は、未払法人税等、未払金等その他の負債が減少した一方で短期借入金および賞与引当金の増加により、流動負債が249百万円増加、長期未払金の減少等により固定負債が164百万円減少したことによります。

純資産は、配当金支払により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて36百万円減少し、6,858百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて216百万円減少し、674百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは107百万円の支出（前年同期は339百万円の収入）となりました。これは、売上債権の増加、たな卸資産の増加、および法人税等の支払等によるキャッシュ・アウト・フローが税金等調整前四半期純利益、減価償却費および賞与引当金の増加等によるキャッシュ・イン・フローを上回ったことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは154百万円の支出（前年同期は126百万円の支出）となりました。これは定期預金の増加および有形固定資産の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは33百万円の収入（前年同期は172百万円の支出）となりました。これは配当金の支払および長期借入金の返済を行った一方で、短期借入金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。この変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,552	939,627
受取手形及び売掛金	3,865,670	3,748,503
商品及び製品	1,502,594	1,408,916
原材料及び貯蔵品	807,144	677,364
その他	326,893	284,772
貸倒引当金	39,419	38,831
流動資産合計	7,236,433	7,020,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	940,900	955,699
機械装置及び運搬具(純額)	926,786	991,623
土地	1,871,802	1,871,131
その他(純額)	208,518	214,519
有形固定資産合計	3,948,005	4,032,971
無形固定資産		
のれん	510,388	520,072
その他	37,125	41,440
無形固定資産合計	547,513	561,512
投資その他の資産	1,093,755	1,161,357
固定資産合計	5,589,274	5,755,840
資産合計	12,825,707	12,776,192

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,949,420	2,894,730
短期借入金	719,960	459,960
未払法人税等	110,410	202,954
賞与引当金	469,072	309,136
その他	533,431	666,065
流動負債合計	4,782,293	4,532,845
固定負債		
長期借入金	395,110	435,100
長期未払金	128,954	220,392
退職給付引当金	609,097	643,125
その他	52,267	50,396
固定負債合計	1,185,429	1,349,013
負債合計	5,967,722	5,881,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,525,928	1,525,928
資本剰余金	1,386,018	1,386,018
利益剰余金	3,793,623	3,857,877
自己株式	249	249
株主資本合計	6,705,320	6,769,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,278	20,513
為替換算調整勘定	87,049	116,487
評価・換算差額等合計	81,771	95,974
少数株主持分	234,436	220,734
純資産合計	6,857,985	6,894,334
負債純資産合計	12,825,707	12,776,192

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	3,947,983	4,184,420
売上原価	2,642,239	2,904,499
売上総利益	1,305,745	1,279,922
販売費及び一般管理費	964,896	1,022,556
営業利益	340,849	257,366
営業外収益		
受取利息	401	948
受取配当金	5,420	609
持分法による投資利益	86,943	8,736
その他	16,460	13,097
営業外収益合計	109,225	23,391
営業外費用		
支払利息	5,390	3,551
その他	2,531	1,131
営業外費用合計	7,922	4,682
経常利益	442,152	276,075
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,831	-
特別利益合計	2,831	-
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	11,606
特別損失合計	-	11,606
税金等調整前四半期純利益	444,983	264,469
法人税、住民税及び事業税	125,568	82,158
法人税等調整額	17,005	23,925
法人税等合計	108,563	106,083
少数株主損益調整前四半期純利益	336,420	158,386
少数株主利益	19,319	9,701
四半期純利益	317,101	148,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	444,983	264,469
減価償却費	129,953	136,231
持分法による投資損益(は益)	86,943	8,736
退職給付引当金の増減額(は減少)	23,844	34,338
賞与引当金の増減額(は減少)	159,419	159,873
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,238	145
受取利息及び受取配当金	5,822	1,557
支払利息	5,390	3,551
固定資産除却損	1,577	294
売上債権の増減額(は増加)	73,769	103,133
たな卸資産の増減額(は増加)	43,198	216,259
仕入債務の増減額(は減少)	43,364	48,395
長期未払金の増減額(は減少)	68,546	91,653
その他	30,840	92,860
小計	360,758	64,421
利息及び配当金の受取額	39,687	1,561
利息の支払額	4,378	3,268
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	56,922	169,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	339,144	106,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	-	50,000
有形固定資産の取得による支出	117,667	99,564
無形固定資産の取得による支出	2,645	638
投資有価証券の取得による支出	25,920	-
貸付けによる支出	-	5,200
貸付金の回収による収入	4,420	243
その他	15,888	1,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	125,924	153,583
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	260,000
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	60,820	39,990
配当金の支払額	103,753	185,222
少数株主への配当金の支払額	6,082	915
その他	1,380	1,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,035	32,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,507	11,496
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	48,692	216,075
現金及び現金同等物の期首残高	503,592	889,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,284	673,552

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

	化学品事業 (千円)	賃貸ビル事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,932,476	15,508	3,947,983	-	3,947,983
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,932,476	15,508	3,947,983	-	3,947,983
営業利益	331,316	9,533	340,849	-	340,849

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、販売方法および製品の種類、性質、製造方法の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

化学品事業.....高真空ポンプ油、難燃性作動液、ダイカスト用潤滑剤、切削油剤、高温用潤滑油、ハードディスク表面潤滑剤、流動パラフィン、スルホネート、ホットメルト接着剤、その他

賃貸ビル事業.....賃貸ビル経営

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,319,449	596,458	32,077	3,947,983	-	3,947,983
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	145,366	35,902	-	181,268	(181,268)	-
計	3,464,814	632,360	32,077	4,129,251	(181,268)	3,947,983
営業利益又は 営業損失()	269,056	69,244	2,762	335,539	5,310	340,849

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア.....タイ・中国

(2) 北米.....米国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
・海外売上高(千円)	924,179	102,221	700	1,027,101
・連結売上高(千円)				3,947,983
・連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	23.4	2.6	0.0	26.0

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア.....中国、タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール

北米.....米国

その他.....ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に化学品（特殊潤滑油、合成潤滑油、素材、ホットメルト接着剤）を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては中国、東南アジア、北米の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「東南アジア」および「北米」の4つを報告セグメントとしております。「日本」セグメントにおいては、化学品事業のほか、賃貸ビル事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成23年3月1日 至平成23年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,555,208	306,432	285,600	37,180	4,184,420	-	4,184,420
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176,038	44,526	32,858	29	253,451	253,451	-
計	3,731,246	350,958	318,458	37,209	4,437,871	253,451	4,184,420
セグメント利益 又は損失()	195,007	40,421	18,848	3,596	250,681	6,685	257,366

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額6,685千円には、セグメント間取引消去6,687千円、棚卸資産の調整額 392千円および貸倒引当金の調整額390千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(参考情報)

1. 製品およびサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学品事業	4,168,913	106.0
特殊潤滑油	1,535,182	103.6
合成潤滑油	321,492	85.3
素材	831,510	96.5
ホットメルト接着剤	1,075,772	122.8
その他	404,957	120.4
賃貸ビル事業	15,508	100.0
合計	4,184,420	106.0

2. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
・海外売上高(千円)	843,959	61,304	3,845	909,109
・連結売上高(千円)				4,184,420
・連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	20.2	1.5	0.0	21.7

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア.....中国、タイ、インドネシア、台湾、マレーシア

北米.....米国

その他.....ブラジル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。